

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	科学と社会
科目基礎情報					
科目番号	0087		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	総合システム工学専攻		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 指定しない。 教材: 講義時間内にプリントを配布する。				
担当教員	児玉 圭司				
目的・到達目標					
1 科学・技術の歴史的なあゆみと、そのさまざまな“見方”に触れ、理解する。 2 科学・技術を扱う者として、これにまつわる法的な問題について理解する。 3 科学・技術を扱う者として、その倫理的問題の所在について理解する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	科学・技術の歴史的なあゆみについて、多様な観点から理解している。	科学・技術の歴史的なあゆみについて、理解している。	科学・技術の歴史的なあゆみについて、理解できていない。		
評価項目2	科学・技術にまつわる法的な問題について、理解している。	科学・技術にまつわる法的な問題について、概ね理解している。	科学・技術にまつわる法的な問題について、理解できていない。		
評価項目3	科学・技術にまつわる倫理的問題について、理解している。	科学・技術にまつわる倫理的問題について、概ね理解している。	科学・技術にまつわる倫理的問題について、理解できていない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (F)					
教育方法等					
概要	【授業目的】 本講義では、人文・社会科学の観点から、科学・技術について取りあげる。前半では、科学・技術にまつわる法的・倫理的問題について、基本的な議論をおさえるとともに、自分自身でも考えてもらいたい。後半では、これまでに学んできた「歴史」を、科学や産業・技術といった切り口から捉え直すことで、多様な見方を身につけてもらいたい。 【Course Objectives】 In this lecture, we will take up science and technology from the viewpoint of humanities and social science. In the first half, I would like you to learn the basic argument about the legal and ethical problems related to science and technology. And I hope you'll think about it by yourselves. In the second half, I want you to acquire various perspectives by catching “the history” that we have learned again from scientific, industrial and technological aspects.				
授業の進め方と授業内容・方法	【授業方法】 1. 講義は配布するプリントに沿って進める。講義中、学生に対して質問への応答を求めるほか、理解度確認のための小テストやレポート等を課す。 2. 視聴したDVDや講演を踏まえて、感想文の提出を求めることがある。 参考書: 講義時間内に配布するプリント中に、参考書を記載する。 【学習方法】 1. 配布するプリントや講義中に示す参考書を用いて復習 (自己学習) するとともに、与えられたレポート課題にも取り組むこと。				
注意点	【定期試験の実施方法】 1. 期末に筆記試験を行う。 2. 時間は50分。 3. 紙媒体のものについては持ち込み可とする。 【成績の評価方法・評価基準】 1. 期末試験の結果によって評価する (60%)。 2. 講義中に実施する小テストや、講義時間外に課すレポートの内容を、評価に加味する (40%)。 3. 上記の到達目標に基づき、各項目の理解についての到達度を評価基準とする。 【履修上の注意】 1. 配布プリントの空欄に各自で板書や講義の内容をまとめ、理解を深めること。 2. 本科目は、授業での学習と授業外での自己学習で成り立つものである。 【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 (B-307) 内線電話 8908 e-mail: kodama@maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること)				
授業計画					
	週	授業内容・方法	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラバス内容の説明	1, 2, 3	
		2週	科学・技術と法—知的財産権①	2	
		3週	科学・技術と法—知的財産権②	2	
		4週	科学・技術を扱う者と法—労働者と法①	2	
		5週	科学・技術を扱う者と法—労働者と法②	2	
		6週	科学・技術と倫理①—生命・医療倫理について (予定)	2, 3	
		7週	科学・技術と倫理②—AI時代の法と倫理 (予定)	2, 3	
		8週	到達度確認	2, 3	

4thQ	9週	科学・技術にまつわる時事問題を考える	2, 3
	10週	映像教材視聴または外部講師による講演会	1, 2, 3
	11週	科学史入門①	1
	12週	科学史入門②	1
	13週	産業技術から歴史をみる①	1
	14週	産業技術から歴史をみる②	1
	15週	到達度確認と質疑応答	1
	16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0